

第5回長崎市上下水道事業運営審議会 会議録

- 【所属名】 上下水道局総務課
【会議名】 第5回長崎市上下水道事業運営審議会
【日時】 令和8年6月1日（月）15時00分～16時30分
【場所】 長崎市役所 5階 第4委員会室
【議事】 水道料金のあり方に係る意見書について

1. 開会

- ・事務局において資料等の確認
- ・上下水道局長あいさつ
- ・会長が開会を宣言。委員は半数以上であり有効な会議とすること。また、会議を公開とすることについて、委員の了承を得た。

2. 議事

- ・水道料金のあり方に係る意見書について

〔理事者説明〕

- ・会議資料「1 審議会の流れ」を基に、今後の審議会の流れについて理事者から説明。

〔会長説明〕

- ・会長が会議資料「2 水道料金のあり方について（意見）（案）」及び「水道料金のあり方について 意見書「本編」」を基に、部会で作成した意見書案について説明。

〔質疑応答〕

委員

意見書の内容について全体として賛成。

長崎の特殊な地形により、他都市と比較してポンプや配水管等が多く必要になり、それに伴い整備費用も多く必要になる等、価格改定の背景の説明が今回盛り込まれている。

料金改定に際して住民説明で多く否定的な意見があった他都市の事例では、水道料金が何に使われているのか分からないという意見があったとのこと。

意見書の最後にある今後の事業運営に対する意見として、しっかりと引き続き説明をすることや、水道水の安全性をPRすること、PFAS等の新しい汚染物質への対策を行っていくと記載されていることはすごく良いと思う。

ただ1点だけ、意見書本編9ページの料金表で、料金体系で基本料金を上げて一部従量料金を下げるとあるが、例えば4人家族をモデル世帯とした場合、料金がどれくらい上がるのかが計算しないと見えてこない。

水道料金の平均改定率は12.27%という数字と、料金の変化について具体的なモデルケースがあれば、より納得感が得られると思う。

会長

料金の改定の影響について、すべてのケースをシミュレーションするというわけにはいかなかったので記載していなかった。

理解と協力をいただくためには、今回の料金改定が合理的なものであることを丁寧に説明することが大事であるため、広報周知を行う際は個別に料金をシミュレートしたケースも提示してほしい。

委員

料金表について、施設等の口径が大きいところは基本料金の上り幅が大きい。

基本料金は大きく上がるが、水道を使わずに従量料金は少ないところもあり、その場合は料金改定が経営に支障が出てくるところもあると思う。

料金改定は令和 11 年からと時間があるので、そのような施設等には個別で丁寧に説明する方がよい。

長崎市の地形上、水道料金が高くなるというのは大体周知されているとは思いますが、そういった中でも努力をしているところを見せることで皆さんの納得感にも繋がると思う。

会長

口径の大きいところは主に事業者や商店等の大型施設になる。

改定の影響は相手によって異なることから、会場を分けるなどして説明することが重要だと思う。

また、口径によっては他都市と比較して高くないこともあるため、口径ごとに比較したものを提示することも必要と思われる。

なお今回の上り幅は基本料金によるところが大きいですが、従量料金部分では値引き部分もあるため、トータルでいくらかになるかをケースバイケースで提示することが望ましい。

委員

上下水道局のホームページに管路の耐用年数と本数のグラフがあると思うが、ビジュアル的に施設の老朽化状況や対策について分かるように、他都市と比較した長崎市の配水施設の数等についてホームページに掲載したらどうか。

意見書に組み込まなくてもいいので、ホームページに水道はどうやってできているのか、水道の維持にこれだけ費用がかかっていると丁寧にわかりやすく掲載されているので、住民説明会の資料等に付ける等活用してはどうか。

意見書には老朽化対策で 22 億円から 28 億円の増額と記載があるが、そういったグラフィックを入れればわかりやすく納得に繋がるのではないか。

理事者

皆さんにわかりやすいように、なぜ料金改定をしなければならないのか説明のページを作成予定で、料金のシミュレーションもページ上で簡単にできないか検討しているところである。

会長

老朽化や料金シミュレーションに関しても、今後の説明を丁寧にやっていく中の一環としてぜひ取り組んでほしいと思う。

委員

本編 11 ページの (5) で水需要の増加を図ると記載があるが、環境学習等で小学校を訪問した際に、先生も生徒も節水は良いことだというマインドがある。

例えば、作った水のうち現在どれだけが使われていて、どれだけがもっと使っても問題ないといったデータがあれば、まだ水道を使ってもいいんじゃないかという気持ちになると思う。

そのようなデータがあれば本編 1 ページのグラフに入れていいのではないか。

会長

どれくらい余力があるのかを説明することは難しいが、過去に水道水を 100 万 m^3 利用していたところ現在は約 80 万 m^3 なので、2 割程度の供給余力があると言えなくもない。

何か良い表現はないだろうか。

理事者

事務局としても表現を考えていきたいと思うが、本編 11 ページの (5) の箇所は、直接的な表現ではないものの、水道水を作る能力に問題ないので皆さん安心して使ってくださいよという意図だと感じている。

委員から指摘があったとおり、安心して水道水を使っていることを今後 PR していくといったことをこの箇所に付け加えた方が、グラフに情報を追加して複雑になるよりも良いかと思う。

委員

それでいいと思う。

会長

本編 11 ページの (5) に工夫して追加したい。

委員

本文 7 ページに「一方、口径が大きくなるほど高い浄水施設能力の確保が必要になることから、水道メーターの契約口径ごとの単価を施設能力に連動させるべきであるが」とあるが、この文章だけではどこの部分にどの能力が必要なのか分かりにくい印象を受けた。

これまでの説明で口径が大きくなるほど施設能力が必要なのはわかるが、もう少し具体的に説明したほうがいいのではないか。

会長

表現を考えているところだが、言わんとしていることは、口径が大きいところはその分の送水量が必要でリソースも割かれるのでコストもかかるということであり、口径に従って基本料金が変わるのも費用面から考えても妥当であるという説明になるかと思う。

大口径に対応するためには、それなりの施設が必要であるため、基本料金に違いを設けるということが前提にある。

委員

子どもが見たときにわかるような例えや表現等にした方がいいと思う。

水道の維持管理に費用がかかるということも、将来子どもたちが安心して水を飲める環境をつくるために今から準備しておかなければならないということだと思うので、保護者の目線から見ても皆さんに理解してもらうのがいいのではと思う。

会長

表現を検討する。

委員

この意見書の最後に水道水の安全について言及されていたので、使用する側としては非常にありがたいと思った。

そのうえで4ページの施設の老朽化対策では、主に配水管の老朽化のことを指していると思うが、浄水場の老朽化についてもかなり問題だと思っているのもっと言及してもいいのではないか。

会長

この箇所についてももう少し追加できないか検討する。

〔審議・決定事項〕

- ・会長から「意見書への指摘事項については修正を進め、修正した意見書は委員に配布し、一度確認依頼すること」、「意見書の根幹となる部分について同意を得たとして、意見書に関する審議は今回の審議会で終了すること」、「修正後の意見書を市長へ提出する正本とすること」及び「意見書を提出する委員は会長と副会長で行うこと」について提案がなされた。
- ・本件については、長崎市上下水道事業運営審議会規程第10条の規定により、審議会の運営に関し必要な事項として会長が審議会に諮ったものとし、いずれも委員の同意を得たため、そのように決定した。

〔理事者説明〕

- ・次回の審議会の開催日程等については後日連絡する旨、理事者から説明。

〔閉会〕

- ・会長が閉会を宣言。